

防災情報通信セミナー&機器展示会

東海総合通信局では、東海地方非常通信協議会及び東海情報通信懇談会と共催で「防災情報通信セミナー&機器展示会」を開催いたします。

日時と場所

- 平成30年6月22日（金）
- ウィルあいち 名古屋市東区上堅杉町1番地
<http://www.will.pref.aichi.jp/frame/f-kotu.html>
- ◆セミナー 3F 大会議室 15:00～16:20 （受付は13:30～）
- ◆機器展示会 3F 第4会議室 13:30～17:00

申込み方法

件名に「防災情報通信セミナー参加」として

①団体名、②役職、③氏名、④連絡先（電話番号、メールアドレス）を送付先にメール又はFAXによりお申し込みください

- **申込期限 6月15日（金）**

※セミナーの定員 200名（無料）

※機器展示会のみ参加も可能です（その旨を記入してください）。

※参加申込に際し、お知らせいただきました個人情報は、本セミナーの終了後に廃棄・消去いたします。

《送付先》 東海地方非常通信協議会（東海総合通信局無線通信部陸上課内）

メール: oso-tokai@soumu.go.jp FAX: 052-971-3672

オ-イスオ-

機器展示会

13:30～17:00

最新の災害情報通信機器の展示やソリューションを紹介いたします。

問い合わせ先

東海総合通信局 防災対策推進室

【電話番号】 052-971-9112

講師からのコメント

○ 講演1 40分

「非常災害時における情報伝達手段の確保について」

講師：総務省 総合通信基盤局 重要無線室 課長補佐 瀬田 尚子

総務省が実施している情報通信分野における防災・減災に関する取組みに関して、非常通信協議会の活動状況や地方公共団体への災害対策用移動通信機器の貸出し等について、概観します。

○ 講演2 40分

「地上デジタル放送波を用いた水蒸気量観測手法の開発」

講師：国立研究開発法人 情報通信研究機構

電磁波研究所リモートセンシング研究室 研究マネージャー 花土 弘 氏

予測が難しいゲリラ豪雨の予測精度の向上を目指し開発中の、地デジ波を用いて地表付近の水蒸気量を推定する手法について紹介します。合わせて、航空機搭載合成開口レーダー(Pi-SAR2)による高解像度画像による災害状況観測データを公開するシステム(X-MAP)、フェーズドアレイ気象レーダ(PAWR)による三次元降水観測等について紹介します。

前回のセミナー、機器展示会の様子

